

OSAKA-TEMMABASHI

ROTARY Club Weekly Bulletin



世界に希望を生み出そう

第2660地区 大阪天満橋ロータリークラブ 創立 昭和42年(1967)11月4日

事務局 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目3番1-1100号 大阪駅前第1ビル11階

例会 毎週木曜日 12時30分 ヒルトン大阪

会長 箕村 保 幹事 御木 威 ヲグ・プログラム・広報委員長 高松 貞彦

事務局電話(06)6344-0120 FAX(06)6344-0126 ホテル電話(06)6347-7111

E-mail:temma-rc@temmabashi-rc.com http://temmabashi-rc.com

2023-2024年度RIテーマ

<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

SEPTEMBER 21 2023 NO. 2633

基本的教育と識字率向上月間・ロータリーの友月間

☆☆ 今日のプログラム ☆☆	次週(9月28日)のお知らせ
1) 例会 (2633回)	1) 例会 (2634回)
2) ソング 日も風も星も	2) ソング 夕日
3) 卓話 「ロータリー新参者です」 西田 勤会員	3) 卓話 「僕の人生」 中川 政照会員
	4) 10月度定例理事会

☆☆ 9月度の結婚記念日 ☆☆

仲西 良浩 中村 修 梅本 知秀

(以上敬称略)

** 先週の例会報告 **

☆☆ 会長報告 ☆☆

皆さまこんにちは。

会長挨拶のネタに困っている今日この頃です。私には5歳になる息子がおりますが、最近読み書きの練習をはじめまして、最初は自分の名前をひらがなとカタカナで書くことを練習しています。たまたまですがガバナ一月信に、識字率についての記事がありました。識字率とは文字の読み書きや文章を理解できる能力がある人の割合を言うそうです。日本では識字率調査が行われてないため正確な数字はわからないようですが、100%には達していないようです。理由は、家庭の事情、病気、不登校などの理由で小学校に通えない子供達がいることがあるそうです。非識字者となった子供は将来、社会生活や就職など多くの場面でハンディキャップを背負い生きていくこととなります。世界に目を向けると50%に達してない国もあり識字率の低い国が多く存在することに驚かされます。その背景には、差別、戦争などの要因があるからだそうです。

ロータリー活動に、基本的教育と識字率向上に向けた活動があります。この活動を通じて一人でも多くの子供が読み書きできる世界になればと願う記事でした。

☆☆ 幹事報告 ☆☆

- ①「会員拡充を行う為のアンケートへのお願い」を本日お配りしております。
- ②「END POLIO NOW チャリティーハロウィンパーティー」のご案内を本日お配りしております。
- ③「吉本ビル駐車場 自動精算機導入に伴う駐車優待について」を本日お配りしております。
- ④秋の家族会の出欠のご返事を事務局までお願いいたします。
- ⑤地区大会出欠のご返事を事務局までお願いいたします。

☆☆ にこにこ箱 ☆☆ 敬称を略す

31ヵ年在籍表彰自祝 中村 健輔
早いもので25年 お世話になりうれしい限りです
川原 和彦
22ヵ年在籍自祝 梅本 知秀
吉村会員、本日の卓話楽しみにしています
箕村 保
吉村君卓話楽しみにしています。 郡 悦清
吉村会員、卓話楽しみにしています。イングラ
ランド戦、ドロップゴール注意です 中村 健輔
吉村さん、卓話頑張れ! 福原 哲晃
吉村さん、卓話楽しみです。 JAPANの背中
を押して下さい 川原 和彦
中村会員31ヵ年、川原会員25ヵ年、梅本会員
22ヵ年、在籍おめでとうございます。

中川 政照

☆☆ 出席報告 ☆☆ () 内は会員総数を基準とした値

国内ビジター	2名	会員総数	42名	9月14日の出席率	68.42%
国内ゲスト	0名	会員出席	26名(38名)	4週間前(8月24日)の	
外国ビジター	0名	出席規定適用免除	17名	メイクアップを含む出席率	76.32%
外国ゲスト	0名	会員欠席	12名	メイクアップ実施会員	4名(欠席者13名)

連続欠席おわび 山本 喬一
 長期欠席おわび 小寺 寿矢
 本日はアレを見に行きます。今日のアレを信じて大声出していきます 川原 和彦
 令和5年9月14日 合計金 60,000円
 累計金 569,000円

☆☆ 先週(9月14日)の卓話 ☆☆

「ラグビーワールドカップよもやま話」

吉村 圭太会員

いよいよラグビーワールドカップ フランス大会が開催しました。

少しラグビーの歴史をご紹介します。まずワールドカップについてですが、ラグビーワールドカップの歴史はそんなに古くなく、36年前第1回となるラグビーワールドカップ1987がオーストラリアとニュージーランドの共同開催でおこなわれました。予選は無く、IRFBワールドラグビー7か国(オーストラリア、ニュージーランド、南アフリカ、フランス、イングランド、ウェールズ、スコットランド、アイルランド)のほか、日本を含む9か国が招待され、16か国で行われました。

日本のラグビーの歴史は今から100年以上前の明治32年にラグビー母国イングランドから伝わり、その後、1980年代にスクールウォーズ、北の鉄人(新日鉄釜石)の7連覇、冬の早慶戦と言われる一大ラグビーブームが起きました。が、その後人気は衰退しました。ラグビー離れを決定つけたのは第3回ワールドカップ南アフリカ大会の歴史的な大敗です。ニュージーランドに100点以上の差をつけられて敗れました。昨今、そんな日本代表が南アフリカやスコットランドを破るなど番狂わせを演じ、再びラグビーがブームになろうとしています。

日本代表が世界の強豪国に勝てるようになったかの理由をよく聞かれます。もちろん外国選手(フィジカルの強い)が多いことも要因ですが、一番はラグビーのプロ化だと思います。10数年前まで日本ラグビー協会はアマチュアリズムを大切にしてきました。アマチュアリズムにおいてスポーツはあくまで余暇を楽しみ、スポーツを通し人格形成を育むもの、賞金や身分を与えそれを生業とするプロフェッショナルはいけないという考え方が根強く強く残っていました。一方、海外ではプロ化が進み日本との力の差

が大きく開いていきました。現代のスポーツは、アマチュアスポーツとして仕事の合間の片手間のトレーニングでは及びもつかないほどのレベルに発展しており、真の意味で「スポーツを本業としない」アマチュアスポーツの理念を遵守しては勝負にならなくなっていました。ようやく日本でもプロ化に舵を切りトップリーグ(現リーグワン)の開催等、少しずつ改革を進めてきました。幸いトップリーグ各チームの母体となる企業は資金的に余裕があり、世界中のトップクラスの代表選手をチーム選手として迎えています。日本人選手は常に世界レベルの選手と練習し、試合ができる恵まれた環境にあります。そこで学び鍛え抜かれた選手、優秀なコーチ陣、それらのピースが揃った結果として2015年、2019年のワールドカップの大躍進が生まれました。

今回のフランス大会もフィジカルや技術ではベスト4に入れる実力は充分にあります。次回のイングランド戦は一番の試合となることは間違いありません。日本代表の活躍を祈っています。

☆☆ 本日のランチメニュー ☆☆

栗のクリームスープ
 クス・クス 豚肩肉 ソーセージ
 かぼすのムース 巨峰のシャーベット
 バゲット、胡桃入りソフトロール
 コーヒー又は紅茶

日も風も星も

東京世田谷RC
 作詞 楠本憲吉
 東京世田谷RC
 作曲 古関裕而

さわやかな朝だ われらはロータリアン
 いつもほほえみ いつも元気
 さあ 出掛けよう
 日も風も星も ラララ光るよ
 ほがらかな昼だ われらはロータリアン
 みんな楽しく みんな胸張り
 さあ 語りあおう
 日も風も星も ラララ光るよ
 みちたりた夜だ われらはロータリアン
 今日 奉仕を 明日も奉仕を
 さあ 夢見よう
 日も風も星も ラララ光るよ